

## 6-5 地下水の調査

### (1) 観測位置，観測孔の種類，構造

地下水調査は、地下水位の低下量や影響範囲などを把握するために行われる。地下水観測孔は、対象区域の帯水層ごとに観測井が設置される。既設井戸を利用するときは、スクリーン区間や井戸の深度をチェックする必要があります。

#### 《解説》

##### 観測位置

池田ダム～河口までの吉野川流域において、河川水位12箇所と地下水74箇所の観測を実施しています。

このうち地下水観測点は、図 - 6.5.1に示したように、中流域（岩津より上流）で6地点，下流域（岩津より下流）で68地点となっています。特に下流ほど観測点が多くなっています。

また河川水位観測点は、国土交通省のものが旧吉野川2箇所、吉野川10箇所となっています。この他に、水資源開発公団のものなどがあります。

##### 観測孔の種類と構造

観測孔は、ボーリング孔を利用したものと既設井戸を利用したものとがあります。浅井戸は、既設井戸を利用したものが多く、深井戸は、ボーリング孔を利用したものが多くなっています。

井戸の構造としては、ボーリング孔を利用したものは、地下水観測孔専用のため、塩ビパイプに目的に応じた深度にスクリーン区間を設置しています。

既設井戸を利用したものは、浅井戸の掘り抜き井戸形式では、井戸下端から地下水を呼び込んでいるものが多くなっています。多層にスクリーンを設けた多層採水井は地下水観測には不適です。

	ボーリング孔を利用した観測孔		既設井戸を利用した観測孔		合計
	浅井戸	深井戸	浅井戸	深井戸	
国土交通省	3	11	41	1	56
徳島県	2	15	0	1	18
合計	5	26	41	2	74

図-6.5.1 現地調査井戸 位置図 縮尺 1:20,000

